

業務の新聞

第6号 平成29年 9月21日

「要求」集まってきてます！

この夏、すべての組合員で「JR発足30年、あらゆる労働条件・労働環境を点検しよう！」と皆さんに取り組んでいただきました。

「外国人旅行者が増えて案内に苦労しているので案内板をつけてほしい」「職場の水回りは故障ばかり、新しくして」

「研修に追われ本来業務が後回しは改善すべきだ」

「資格を取得するのに会社はもっとバックアップすべきだ」

「エルダー厳しい！！」

「車イス対応何とかして！」

「要員を増やして！」

「賃金・ボーナスのアップを」…。

労働条件の向上はもとより制度・政策の内容と運用について等々、多岐にわたる『要求』が地本に寄せられました。

本部と連携しながら、地本で解決・改善する内容について整理し皆さんにお返しできるように取り組んでおります。

会社発足30年と言ってもまだまだ課題は山積しています。安全・正確な列車を提供するために、会社の発展のためにと「偉い方」はおっしゃっていますが、破れたイスで休憩を取り、睡眠時間や食事時間も削られ、慣れない業務に、体ばかりでなくハートへの負担も増大しています。

皆さんの知恵とチカラを借りながら、「成果」を挙げられるように取り組みます。言い足りないことや気掛かりなことなどありましたら、地本に連絡ください。働く仲間のために労働組合は存在します。

よろしく願います。

第5回地本大会発言！

9/9に第5回地本大会が開催されました。

6名の代議員の発言は、申1号として支社経営側に提出し、問題解決に向けて取り組みを進めていきます。

大会後の懇親会の中でも「将来への不安」「職場管理・業務体制」「業務委託」「エルダーについて」「車イス」等々の声をいただきました。少しでも職場が良くなるように、少しでも仲間たちが『笑顔』になれるように、連携を取りながら取り組みを進めます。

10月ダイヤ改正？！

「常磐線特急の車掌のひとり乗務？」が話題となっている10月ダイヤ改正は、東日本ユニオン東京地本には、「提案」ではなく「説明」と言う形で話をしたいと支社経営側から通告がありました。『標準数が変わらないから』がその理由だそうです。この件に関しては、支社経営側と認識の一致を図るためにも引き続き論議してまいります。

話題となっている「常磐線特急の車掌のひとり乗務？」に関しては、次期ダイヤ改正まで検証を行うということが、提案もされていないのに『何処かで』話されているようです。

地本大会での議員発言にもあったように「便利な・利用しやすいJR」であるべきだと私たちは考えます。サービスの提供はもとより安全面や避難誘導等々私たちが日々お客様に接し感じることを支社経営側に声を大にして訴えていきます。

説明内容や私たちの要求については、次号に掲載します。